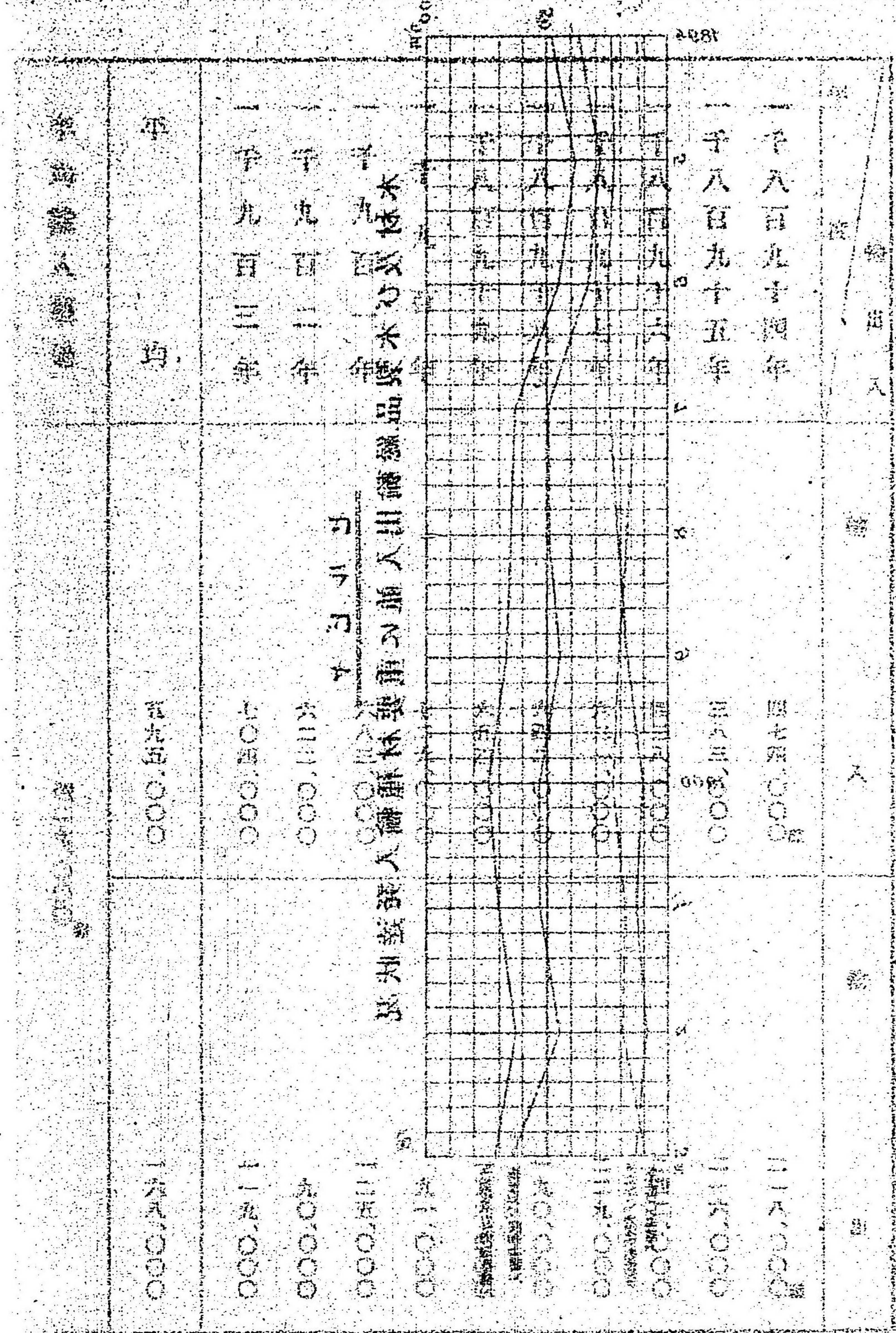


年 度	材 種		輸 入	輸 出	輸 入	輸 出
	燃 材 及 び 建 築 材	各 種 加 工 材				
一千八百九十四年	二九,五〇〇	二,九〇〇	二,九〇〇	二,九〇〇	二,九〇〇	二,九〇〇
一千八百九十五年	二九,〇〇〇	二,九〇〇	二,九〇〇	二,九〇〇	二,九〇〇	二,九〇〇
一千八百九十六年	二九,〇〇〇	二,九〇〇	二,九〇〇	二,九〇〇	二,九〇〇	二,九〇〇
一千八百九十七年	二九,〇〇〇	二,九〇〇	二,九〇〇	二,九〇〇	二,九〇〇	二,九〇〇
一千八百九十八年	二九,〇〇〇	二,九〇〇	二,九〇〇	二,九〇〇	二,九〇〇	二,九〇〇
一千八百九十九年	二九,〇〇〇	二,九〇〇	二,九〇〇	二,九〇〇	二,九〇〇	二,九〇〇
一千九百年	二九,〇〇〇	二,九〇〇	二,九〇〇	二,九〇〇	二,九〇〇	二,九〇〇
一千九百一年	二九,〇〇〇	二,九〇〇	二,九〇〇	二,九〇〇	二,九〇〇	二,九〇〇
一千九百二年	二九,〇〇〇	二,九〇〇	二,九〇〇	二,九〇〇	二,九〇〇	二,九〇〇
一千九百三年	二九,〇〇〇	二,九〇〇	二,九〇〇	二,九〇〇	二,九〇〇	二,九〇〇

第二表 重要材種別輸出入額





第十二章 プルガリヤ

第一節 森林狀況

一千九百一一年全國農商務省の報告に據れば全林地は約三百六萬町歩を計上し全國總地積の三割に該當する處なり然れども此等は皆概算にして近似價たるに過ぎず蓋し全國には未だ土地臺帳なるもの存せざればなり。

森林配布の狀況は良好なりと云ふべからずと雖ども又甚だしく不平均ならず最少の一割六分と四割一分との間を徘徊す今最近改正の行政區劃十二縣に就て論ずればドナウ平原たるウイヂンブレブザルノウオザルナ及びウラツアの五縣は森林最も少なく一割六分と二割七分との間にあり山岳多きツフヤ及びブルステニクの二縣は中位を占め全國の平均數に近く本來の高山地方たるブルガス外四縣は森林多く何れも平均數の上に位す要するに森林の多くはバルカン殊に其東部の諸地方并にロドベ山岳及びツラ山に存す。

更に所有別を以て森林の配布を論ずれば

國有林	九十萬九千八百四十町歩	二割九分七厘
市町村林	一百五十七萬七千七百六十四町歩	五割一分四厘
私有林	五十二萬三千七百九十四町歩	一割七分一厘
寺院林及び學校林等	五萬四千五十八町歩	一分八厘

是れに由つて觀れば市町村林最も多く全國全森林の半以上を占め國有林は其三分の一に近く私有林に至りては一層少く僅かに其六分の一にして他は論ずるに足らず而して國有林の多量に存する處は全く山岳地方にして殊にバルカン及びロドベ山脈なり市町村林は各地方到る處に散在すと雖ども其最も多量なるは全國の東南兩部なりとす又私有林は殆ど全く平地を占め數多の小林に分割せられ連亘せる大森林を爲すもの極めて稀有なり。

同國に於ける森林所有の關係は土耳其帝國所屬時代より引續き紛擾を極め殊に國家と町村又町村相互の間爭議の絶ゆる時なく今日も尙ほ所有權未定の面積三



十九萬八千二百町歩の多きに上り全林地の一割三分を占むる處なり。此の如く同國には土地臺帳なるものなく又所有の關係未だ確定せざる處なれば林業の振はざる推して知るべきのみ。

翻て全國森林の實質を細檢するに多くは混淆の異齡林にして主に榲、榲、唐檜、榲、白松、黒松及び白樹等の樹種より成り只二三地方に於て白楊、榲、榲、及び榲の主木を爲すを見るのみ更に林況に依て全國を分てば高山地帯、榲谷地帯及び平地帯の三部と爲すを得べし。

高山地帯の森林殊に針葉樹林は甚だしく火災虫害及び風害を受けたるのみならず人爲の濫採によりて大に荒廢し共有林の如きは大部分此等の方法によりて全く滅却せられたり只リラ、ロド、山脈の如き交通不便なる地方に於て針葉樹の原生林を見るのみ然れども此の如く保存せられたる森林は頗る大木よりなり高さ二十二間乃至三十三間胸、高直徑三尺三寸に達する唐檜及び榲の存すること少からず。

榲谷地帯に於ては其高處は殆ど榲の純林にして東南兩部の山腹にありては常綠榲の塊狀に混生するを見る其以下の低地に至りては常綠榲及び其他の榲類純林

を爲し往々榲、白樹、榲、赤楊類混生す其他赤楊類は濕地に暢茂し白松は南面の山腹、榲間を占む要するに此地帯の林況は前帯に比して一層の荒廢を極め存續するものは只國有林なるのみ而して本帯の供する主要材は第一榲にして次は胡桃樹なりとす。

平地帯の主木も榲にして尙ほ前掲各種の潤葉樹多量に混淆す往時は海岸地方到處榲繁茂し大森林を爲せしと雖ども今日は殆ど全く消滅し榲代りて之れが主木を爲せり其他唐檜、榲、及び榲の森林を爲す處又少なからず此地帯の森林は殆ど全部私有林にして不法作業と無制限なる放牧とにより全く絶滅するに至れり。全國の林況以上記述の如くにして荒廢甚だしく殆ど林業を經營すと稱すべからず偶々榲の容らざる原生林ありと雖ども交通機關缺如するが故に之れを利用するを得ず市場の材價は甚だ低廉なるを以て利用額多大なるにも拘らず收入少なく加之國有林の如きは其面積廣大なるも今日支出が收入を超過する關係にして年々の支出額二十七萬四千圓なるに對し收入額は僅かに十九萬六千圓なる割合なり。



第二節 木材貿易

ブルガリヤ國が現今の領土を以て獨立するに至りしは漸く一千八百八十五年末よりのことにして従て貿易統計の如きも其翌年より始めて之れを有する處なり而して全國は一千八百八十七年先づ内國政治上の關係を確定し後諸外國との貿易關係を整理せし處にして一時何れの國に對しても假條約を訂結し之れに據りて一千八百九十六年に至るまで取引を繼續したりしが同年に於て従前の條約を改正し一千九百三年十二月迄通用する確定條約を訂結したり此新條約に於ては貿易品目を分類して左の三級となせり。

第一級品	價格の一割四分以上の關稅を課するもの。
第二級品	價格の一割四分以下の關稅を課するもの。
第三級品	價格の一割四分の關稅を課するもの。

是れなり而して燃材建築材鋸切材及び樺材の如きは第二級品に屬し價格の八分の關稅を課せらるゝ部類たり。

今同國交通機關の狀況を見るに一千九百年の現在に於て既に三百九十里以上の鐵道と他に六百四十里に亘る新設道路及び改正道路を有し海港にはブルガリヤ及びブルガスの二個處とドナウ河港とあり而して全國の外國貿易は多く水路を利用する處なり是れ埃甸が隣國なるにも拘らず英獨二邦より海路輸入あるに對し第一輸入國たるの位置を占むること甚だ困難なる所以なり。

全國よりの輸出品は主として農作物にして従てその額は年の豊凶と並行して増減するを免れず而して農業の程度未だ甚だ低く一國の購買力又弱く従て輸入も大に沈靜する處なり又この輸入の沈靜に對しては全國政府の内國工業を獎勵する點も與かりて力ありとす。

一千九百年埃甸國領事の報告する處に據ればブルガリヤ西北諸地に於ける木製品板類及び粗材は専ら匈國より來たるものにしてルーマニヤ産材の如きは到底劇甚なる競争を爲すこと能はざるが如し蓋し資本小なる場合には信用關係重大なる勢力を有するものなればなり而して板類床板及び樺材の輸入に關しては埃甸主位を占めルーマニヤ之れに次ぐ。

現今全國政府は國有林業は勿論私有林業の進歩發達に務め時々技術官を召集し



て各種の問題を研究せしむる處なり然れども現況の如く一方には莫大なる山岳林も開發利用すること能はず他方には薪炭家屋に要する材額多量なる場合には廣大なる森林を有するも到底一國の全需要を充實すること能はず爲めに木材の輸入甚だ多く輸出の二倍以上を占むる處なり左れど如上政府の獎勵は其効果空しからず近時各種木材の輸入は次第に減退するに反し輸出は漸く良好なる發達を呈するに至り加ふるに從來未發の森林も着々利用せらるゝの機運に進めるが如し。

今一千八百九十三年乃至一千九百二年の十年間に於ける貿易狀況を案ずるに其發達甚だ不規律にして一千八百九十三年度の輸入額の如きは材積に於て二十四萬五千尺<sup>ベ</sup>價額に於て一百七十二萬圓を計上せしが其翌年には劇増して材積二十九萬四千尺<sup>ベ</sup>價額二百五萬圓となり爾來多少の變動を受けつゝ漸く減少し來たり一千九百二年には材積十二萬尺<sup>ベ</sup>價額七十一萬一千圓となれり輸出に於ても變動多く其狀況甚だ不規律なれども大體に於て著しく増加し一千八百九十三年の如きは僅かに材積五萬尺<sup>ベ</sup>價額三十九萬五千圓なるに過ぎざりしが十年後の今日に至りては材積十一萬四千尺<sup>ベ</sup>價額五十四萬八千圓の多さを示せり尙ほ

此十年間の平均額を算するに輸入の二十二萬尺<sup>ベ</sup>價額一百三十二萬一千圓に對し輸出は六萬七千尺<sup>ベ</sup>價額三十五萬八千圓なる關係なり而して同國へ輸入する國は第一埃甸次はルーマニヤ及び土耳其にして其額往々埃甸を凌ぐものあり其他獨逸佛蘭西英吉利白耳義セルビヤ及び露國より輸入せらるゝものありと雖ども其額尠なく記するに足らず尙ほ別表を掲げて參考に供す。

第一表 木材及び木製品總輸出入額但し「フラン」は我三十九錢一厘又一噸は五尺<sup>ベ</sup>として換算す以下之れに倣ふ。

年	輸出入	
	入	出
一千八百九十三年	一、七二六、〇〇〇	三九五、〇〇〇
一千八百九十四年	二、〇五〇、〇〇〇	五一五、〇〇〇
一千八百九十五年	二、二九四、〇〇〇	四七五、〇〇〇
一千八百九十六年	一、六六一、〇〇〇	二四八、〇〇〇
一千八百九十七年	一、二五九、〇〇〇	四七〇、〇〇〇
一千八百九十八年	一、六六三、〇〇〇	二七六、〇〇〇
一千八百九十九年	一、四八三、〇〇〇	四九〇、〇〇〇
全	一、二六八、〇〇〇	二八一、〇〇〇
全	一、〇四七、〇〇〇	三〇〇、〇〇〇
全	二、〇〇七、〇〇〇	五七〇、〇〇〇



年 度	材種及び國名			
	輸 入	輸 入	輸 入	輸 出
一千八百九十三年	一七三,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	七,〇〇〇	四四〇
一千八百九十四年	二一四,〇〇〇	一九〇,〇〇〇	四,〇〇〇	七,〇〇〇
一千八百九十五年	一八四,〇〇〇	二七,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇
一千八百九十六年	一五六,〇〇〇	三三,〇〇〇	一八,〇〇〇	四,〇〇〇
一千八百九十七年	一六六,〇〇〇	三五,〇〇〇	三,〇〇〇	四八,〇〇〇
一千八百九十八年	一八九,〇〇〇	一八,〇〇〇	一五,〇〇〇	五九,〇〇〇
一千八百九十九年	一四四,〇〇〇	一一,〇〇〇	三,〇〇〇	五二,〇〇〇
一千九百年	六二,〇〇〇	一一,〇〇〇	一三,〇〇〇	六四,〇〇〇

第三表 重要諸國別輸出入額

一千九百年	八九,〇〇〇	二六,〇〇〇	三三,〇〇〇	一九二,〇〇〇	一四,〇〇〇	四〇,〇〇〇	一一,〇〇〇	九八二	一一三,〇〇〇	五,〇〇〇
一千九百一年	一四六,〇〇〇	二五,〇〇〇	二五三,〇〇〇	三三六,〇〇〇	一三七,〇〇〇	三,〇〇〇	七,〇〇〇	三,〇〇〇	二七,〇〇〇	八,〇〇〇
一千九百二年	六九,〇〇〇	三〇,〇〇〇	二九八,〇〇〇	三三九,〇〇〇	二〇,〇〇〇	三六,〇〇〇	五,〇〇〇	三,〇〇〇	四七,〇〇〇	一三,〇〇〇

第二表 重要材種別輸出入價額

年 度	軟質粗用材		軟質鋸切材		硬質粗用材		硬質鋸切材		木 製 品	
	輸 入	輸 出	輸 入	輸 出	輸 入	輸 出	輸 入	輸 出	輸 入	輸 出
一千八百九十三年	一六四,〇〇〇	七八二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	六,〇〇〇	六,〇〇〇	一五五,〇〇〇	三三〇,〇〇〇	九四,〇〇〇	四,〇〇〇
一千八百九十四年	三七〇,〇〇〇	二,〇〇〇	八七九,〇〇〇	二八,〇〇〇	一一〇,〇〇〇	三三,〇〇〇	一三三,〇〇〇	二二〇,〇〇〇	八〇,〇〇〇	一五,〇〇〇
一千八百九十五年	三三三,〇〇〇	二,〇〇〇	八三九,〇〇〇	四,〇〇〇	七,〇〇〇	四,〇〇〇	七三,〇〇〇	一三三,〇〇〇	八五,〇〇〇	九,〇〇〇
一千八百九十六年	一九六,〇〇〇	一六七,〇〇〇	七,〇〇〇	三,〇〇〇	六,〇〇〇	三,〇〇〇	一七,〇〇〇	四八,〇〇〇	二三五,〇〇〇	三,〇〇〇
一千八百九十七年	一五〇,〇〇〇	二二,〇〇〇	六八六,〇〇〇	二,〇〇〇	一一八,〇〇〇	四,〇〇〇	一〇,〇〇〇	三九,〇〇〇	九五,〇〇〇	三,〇〇〇
一千八百九十八年	三九六,〇〇〇	二六,〇〇〇	五九一,〇〇〇	二,〇〇〇	九,〇〇〇	三,〇〇〇	三六,〇〇〇	一〇四,〇〇〇	一〇四,〇〇〇	五,〇〇〇
一千八百九十九年	三〇,〇〇〇	八六,〇〇〇	三九六,〇〇〇	四三,〇〇〇	八,〇〇〇	二〇,〇〇〇	六二,〇〇〇	九六二	四七,〇〇〇	五,〇〇〇

平均輸入超過	全	一九六三,〇〇〇尺 <sup>圓</sup>
平均	全	一,三三二,〇〇〇
一千九百一年	全	一七八八,〇〇〇
一千九百二年	全	二七一,〇〇〇
一千九百一年	全	五三〇,〇〇〇
一千九百二年	全	九五〇,〇〇〇
一千九百一年	全	一五〇,〇〇〇
一千九百二年	全	一五四八,〇〇〇
平均輸入超過	全	三三八,〇〇〇
平均	全	六七八,〇〇〇

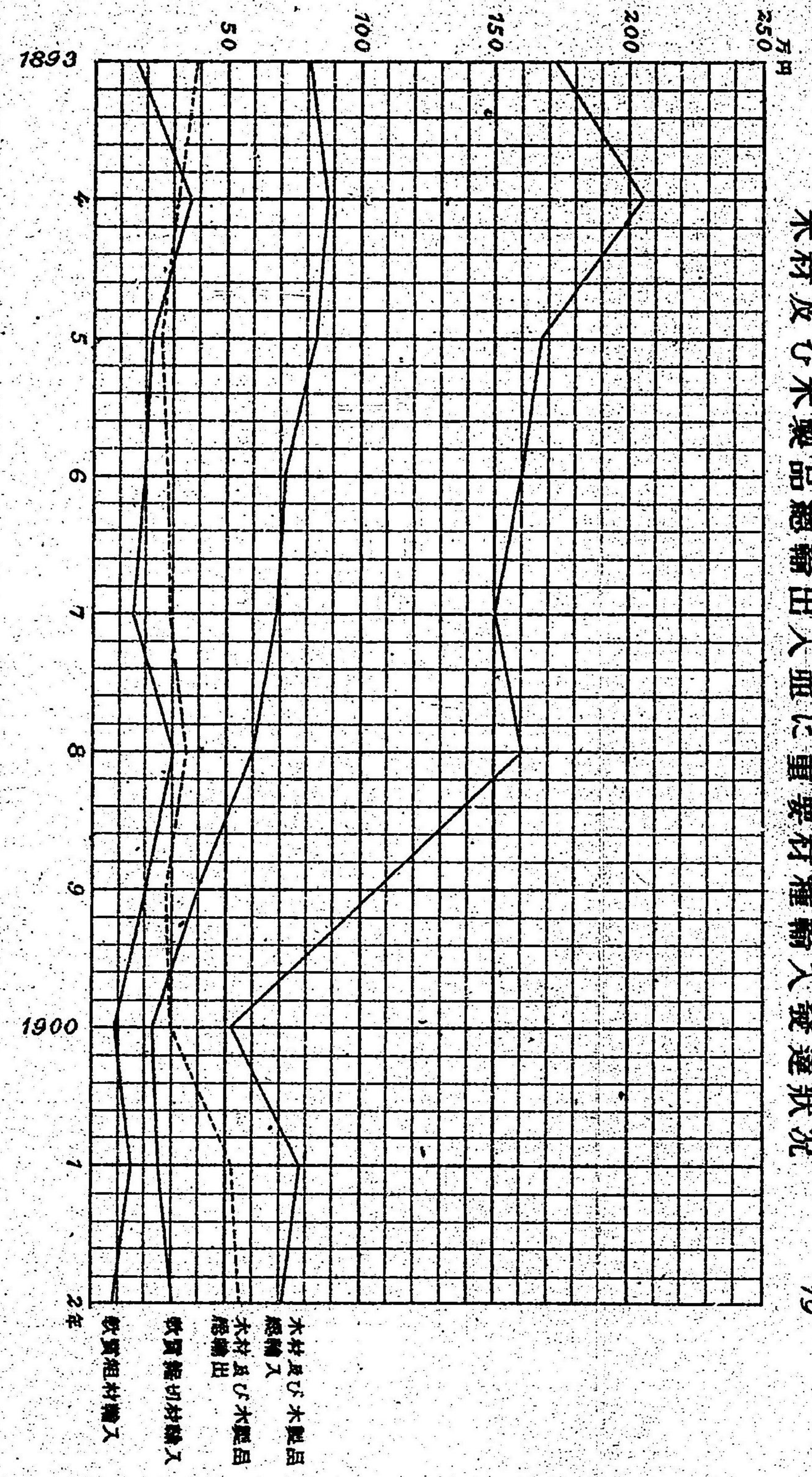


第三表續き。重要諸國別輸出入額

一千九百一一年	七八,〇〇〇	四三,〇〇〇	四,〇〇〇	九三,〇〇〇
一千九百一二年	六五,〇〇〇	四,〇〇〇	八五〇	一〇一,〇〇〇

年 度	材種及び國名		硬 質 粗 用 材 及 び 鋸 切 材		佛 國	
	輸 入	輸 出	輸 入	輸 出	輸 入	輸 出
一千八百九十三年	二六〇,〇〇〇	二〇〇,〇〇〇	二,〇〇〇	八,〇〇〇	四,〇〇〇	七〇〇
一千八百九十四年	一八〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇	三,〇〇〇	九,〇〇〇	三,〇〇〇	二〇〇
一千八百九十五年	八〇,〇〇〇	二〇,〇〇〇	一〇〇	五,〇〇〇	二,〇〇〇	二〇〇
一千八百九十六年	二〇,〇〇〇	二〇,〇〇〇	七〇〇	五,〇〇〇	二,〇〇〇	三〇
一千八百九十七年	二八,〇〇〇	二〇,〇〇〇	六〇〇	七,〇〇〇	二,〇〇〇	一,〇〇〇
一千八百九十八年	三三,〇〇〇	一〇,〇〇〇	二,〇〇〇	八,〇〇〇	三,〇〇〇	一,〇〇〇
一千八百九十九年	三〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	七〇〇	九,〇〇〇	二,〇〇〇	一,〇〇〇
一千九百一一年	二〇,〇〇〇	六〇〇	四〇〇	五,〇〇〇	二,〇〇〇	一,〇〇〇
一千九百一二年	三〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	二,〇〇〇	三,〇〇〇	四,〇〇〇	一,〇〇〇

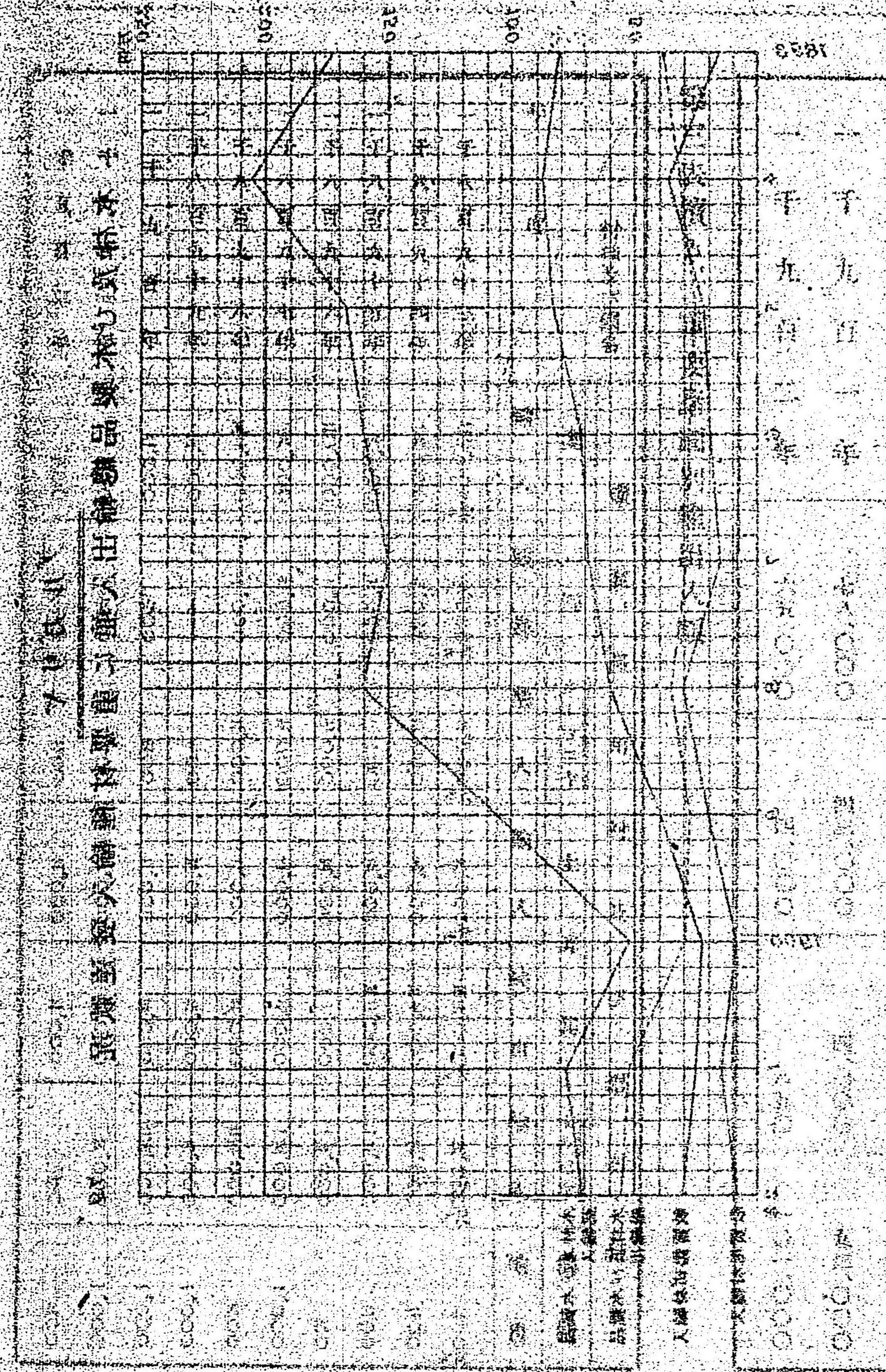
ブルガリヤ 木材及び木製品總輸出入並に重要材種輸入發達狀況 19





土耳其は統計の信ずべきもなく森林面積の如きも到底之れを知ること能はず  
 佛人ア、メラールの報する如く全國の林況は極めて劣悪にして希臘及びブルガリ  
 ヲの夫れに比し荒廢の度一層甚だしく或は調査の及ばざる美林なきにあらざる  
 べくも大體に於て木材缺乏國たるや疑なし今獨人エンドレンスの調査に據り全國  
 木材輸出入額を擧ぐれば一千八百九十九年乃至一千九百年の會計年度に於ては  
 其輸入價額三百二十萬三千圓に對し輸出價額三十四萬圓の割合なり。

第十三章 土耳其





## 第十四章 亞弗利加

本洲はア、メラールの説の如く雨量分布の關係により赤道に平行して左の如く四帯に分ちて論じ得べし即ち

第一帯 アトラス及び地中海沿岸地方。

第二帯 サハラ地方。

第三帯 赤道地方。

第四帯 南部亞弗利加地方。 是れなり。

第一帯に屬する地方はモロッコアルゼリ及びチュニスの諸地を包括す而して最後二邦に對する森林狀況貿易關係に就ては既に佛國の部に於て其概要を記述せり要するに此等地方の森林は第十二世紀の頃回々教徒の占領せし處にして甚だしく濫伐を極めたり其結果今日木材大に缺乏し北部亞弗利加住民の需要すら充實するに足らざるの少量にして唯僅かに數十萬町歩の「コルク」樹林を見るのみ。

第二帯サハラ地方に於ては灌木の叢林所々に點在するありと雖ども未だ眞個の森林と稱すべきものなし而して樹木と稱するものも只叢林中の椰子樹あるのみ。

埃及は此地帯に屬し赤道近傍降雨の影響に由り土地頗る肥沃なりと雖ども未だ所謂林業と稱すべきものなし。

今木材貿易の狀況を察するに其輸入は年々斷へず増加し建築材の輸入價額の如きは一千九百一年には七百四十九萬圓を計上せしが其翌年には八百十九萬圓となり一千九百三年には九百八十一萬圓に上れり而して此等材種の輸入國は主として埃甸瑞典及び土耳其等なり更に燃料輸入の關係を見るに一千八百八十九年乃至一千八百九十三年の平均に於て一千六百十六萬貫目を數へ一千九百三年の如きは一千三十二萬貫目價額三十六萬六千圓に達し殆ど全く土耳其より輸入せらる。

第四帯はケープコロニーコンゴ川附近の殖民地及びトランスヴァールの諸地に跨り森林又尠なしこれらの地方は歐人の殖民に適し且數多の鑛物に富めるを以て人口未だ稀少なりと雖ども木材の需要甚だ多く既に生産額以上に達せる處なり今一千八百九十八年ケープコロニー地方に於ける用材輸出入の關係を検するに其輸入額は三百四十二萬圓の多きに上れるに反し輸出額は僅かに七萬圓弱なるに過ぎず左れば南部亞弗利加も亦木材不足の地たるを免れず要するに上記



述の三帯は面積甚だ廣く亞弗利加全洲の三分の二以上を占むるにも拘らず森林の狀況頗る劣惡にして木材の缺乏を感ずること一層大なり。以上を反し第三帯に屬する地方は到る處廣大なる未開林を以て覆はれ而かも加奈陀瑞典の夫れに代るべき美林を有すと稱せらる然れども事の實際は世人の想像する如く良樹美林の存するにあらず只ギネヤ灣に沿うて北緯十度より南緯四度に亘る一帶の地に於て大西洋の降雨に浴せる部分即ち幅十八里乃至二十六里の森林とコンゴ川の支流及び其支流の豁谷に存する森林とあるのみ此兩者の中間地たるセイダン及び佛領コンゴの如きは雜草灌木を以て掩はるゝ草原なるに過ぎず而して以上記述する二大森林は大に植物の種類に富み一町歩の地積に於て同一種類の植物を再見すること困難なるの關係なるが故に植物學上の價値は頗る大なるべきも商業上の價額に至りては甚だ僅少なりと云はざるべからず蓋し樹木は一般に矮小にして利用に適せず偶用材に適するものありと雖ども數多の雜木と混生し之れが伐採には多大なる勞力と費用とを要するのみならず交通機關缺如し河川の利用すべきもの少なく其搬出非常に困難なればなり又此等地方の森林は貴重なる家具用材染料用材等を産出すと雖ども此等は歐洲の市

場に需要少く染料用材の如きは既に化學的顔料によりて大に壓倒せらるゝ處なり。

要するに亞弗利加に於ける未開の森林も到底歐洲の用材缺乏を補充するの一大蓄積を有するものにあらざるなり。



## 第十五章 濠太刺利亞

本洲の林地は大約合計五千一百九十萬町歩にして總地積の六分五厘に相當すと云ふ森林の配布は極めて不規則にしてその最も多量なる地方は全洲の南部及び東部の海岸地方并に之れに接近して横はれる山岳なり即ち西部濠洲の西南部、イクトリヤの東南部、ニューサウスウヰールの東北部、クイーンズランド、ニュージラント及びタスマニヤにして普通年雨量九百粒以上の諸地方なりとす而して内地に進むに従ひ雨量漸く減少するが故に樹木の生長不良となり完全なる森林を爲すに至らず終に點在する矮木叢林の地と變ず從て學術上森林と稱すべきもの甚だ少なく僅かに數千町歩の人工植栽林を除き他は悉く矮林的にあらずんば叢林的なるに過ぎず樹種は多く、ユーカリ及びアカチャ等なりとす。

近時何れの州邦も多少の保存林なるものを劃定し法律を以て利用を制限し又其保護を規定するに至りしが其面積は現今合して六七百萬町歩ありて森林官の監督に屬せり爾餘の森林は多く木材工業家に對し一定期間普通二十五ヶ年を限りて利用を小作に付し或は年々伐木認可證を與へて貸付せらる。

全洲森林の狀況記述の如くなるが故に木材貿易の關係も大に受働的にして輸入の輸出を超過すること頗る大なり即ち輸入は一千八百九十一年に於て一千二百萬圓を數へ一千八百九十九年には一千四百九十萬圓を計上せしが輸出は甚だ少なく前年度に於て四百四十萬圓後年度に於て九百十萬圓なるの少額を示せり而して輸出材は主として英國に向ひ輸入材は専ら針葉樹にして瑞典諾威及び北米より來たる。

要するに本洲は將來内地の需要を充實するを以て林業の方針と爲さん蓋し木材の蓄積は比較的僅少にして海外貿易の如きは特別樹種にあらずんば販路困難なるの事情あればなり。



第十六章 墨其西哥、中央亞米利加及び南亞米利加

墨其西哥は北緯十五度乃至三十度の間に横たはり土地一般に高原にして半熱帯の氣候を示す佛人ア、メラールの報告に據れば全國の森林より産出する木材は尠なからずと雖ども僅かに内地の需要を充實するに過ぎず輸出額の如きは甚だ少量なり一千八百九十六年度に於ける輸出入額を見るに輸入價額の八十七萬圓に對し輸出額は九千圓に達せざるの狀況なり。

南米殊にアマゾン河領は赤道帯に屬し其林況は亞弗利加の熱帶地方に酷似す而して全河は之れを彼のコンゴ川に比すれば其下流に於て舟行に便なるの長所を有すれども林内各種の惡木良樹雜生し材質の歐洲市場に不向なること利用の困難なること及び搬出の不便なることは兩者全く同一なり。

又亞爾然丁は大平バムバヌと稱する廣大なる草原にして森林は只西方及び西北に横たはるアンデス山腹并に北部に存するのみ而かも多く熱帶林の性質を帯び而して全國の人口僅かに四百五十萬なるにも拘らず木材の需要頗る多く用材を外國に仰ぐこと夥し一千八百九十八年度の如きは輸入價額一千三十八萬圓に達

するも輸出價額は僅かに三百九十一萬圓を計上するに過ぎず而かも單寧の製造を目的とするケブラチヨホルツ其大部を占むるが故に純然たる用材の輸出額は僅々二十三萬圓内外なるに過ぎず。

Table with multiple columns and rows of data, likely representing trade statistics for various countries or regions. The text is very faint and difficult to read.



## 第十七章 朝鮮

## 第一節 森林狀況

朝鮮にありては未だ確實なる統計なく一國の廣袤人口の粗密は報告者の異なるに從て異なり殊に森林原野の如きは到底其實積を窺ふこと能はざる狀況なり然れども幸に先年田中宮島の兩技師官命を帯びて彼國の林業を視察し次て西田中牟田の兩學士命を奉じて鴨綠江方面の森林事情を調査したるものあり今此等の報告を基礎として聊か彼國の森林狀況より木材貿易に至る關係を叙述せん。

田中技師の報告に據れば全國は南北二百里東西七十里に亘り附屬島嶼を合して一萬五千方里の廣袤を有し人口九百七十五萬人に及ぶ而して森林原野の幅員に至ては到底直接に之れを知ること能はずと雖ども耕地宅地開墾の狀況河川の長短流域の廣狹等より間接に推算すれば大約一千五百五十萬町歩に上り恰も我邦本州の林野(一千五百七十萬八千町歩)に伯仲たるの大さなり又其所有別の如きも頗る曖昧にして表面上公山私山の別あるが如しと雖どもこは只通稱のみ會て全政府の調査したることなければ詳細を知るに由なし。

全國も亦他の文明諸國と變遷を同うし往時にありては到る處鬱蒼たる森林を以て被はれ晝猶ほ暗きが如き狀況を呈せしが爾來人口の増殖と共に漸く利用開發せられ今日にありては只深山幽谷に於て散見するのみとなれり而かも濫採甚だしく山骨露出し荒廢を致せるもの又尠ながら樹木存するも多くは赤松の稚樹若くは矮小の惡木たり從て林相の觀るべきもの甚だ少なく只禁伐の國有林若くは墳墓林或は交通不便なる僻遠の天然林なるのみ若し其歩合を問へば全林面中立木地の一に對し禿山草地二なるの割合なり更に之れを各道に分ちて論ずれば國の南部に位する慶尙全羅忠清京畿及び黃海の五道は禿山草地大部を占め森林少なく之れに反し其北部たる江原咸鏡及び平安の三道には立木地比較的まし樹種は針葉樹にありては赤松主位を占め裏白縱朝鮮五葉松落葉松赤柏松アラ、ヤ、等之れに次ぐ闊葉樹にありては袍榲栗、楸、鹽地、菩提樹、楚檜、楡、類、胡桃、赤楊、白樺等最多く其他柳樹の如きは全國到る處に散生す更新は殆ど全く天然に任し人工造林の如きは只風潮若くは軍事上の目的より海岸及び城趾に於て多少之れを見るのみ。

全國の森林中最も著明なるは第一鴨綠江及び豆滿江の水源地たる山林にして平



安道の江界郡より起り慈城厚昌の二郡を経て咸鏡道の長津三水の兩郡に到り白頭山の脚部に達し更に進んで甲山茂山の二郡に連亘す其廣袤は東西約八十里南北十里乃至二十里ありて大約一千二百方に亘り恰も我秋田青森二大林區の所轄面積に匹敵すべき一大森林地たり而して西田技師の調査に據れば世の所謂鴨綠江森林と稱し本支兩江の流域に於ける森林は開墾の實況地勢天然の位置樹種固有の特性等より推測するときは現今拔海九百尺以上四千尺以下の位置を占め其區域は清韓兩國の所屬を合して五百方里内外即ち七十七萬餘町歩の地積を劃するが如し若し沿岸多數の移住民地と利用に適せざる山地とを除外すれば恐く二百五十方里位ならんと云へり實測の成績なれば之れを確むるに由なし要するに全地方の繁茂樹種は朝鮮五葉松裏白縦落葉松赤柏松アラ、ギ、及びネヅミサンにして潤葉樹にありては「ミネバリ」「クルミ」「ハルニレ」「ミツナラ」「ニレ」の類なり就中裏白縦及び五葉松の二種は最も多く全地方の主林木たり而して該樹種は其特有の性質及び分布の狀況より推考するときは白槍帯の下部にありて拔海三千五百尺以下即ち落葉潤葉樹帶中に於て雜木と混生林を爲す若し其歩合を算すれば材積に於て針葉樹は五割四分を占め木數に於て潤葉樹は其過半を領す更に一町

歩の蓄積を測算するに左表の如き成績を得たり。

樹種	通直徑別	本數	材積	平均一本當
裏白縦	一尺五寸以上	二五本	二〇〇方	材積十尺目通直徑一尺九寸長さ十五間内外
	一尺五寸以下	三五	一〇〇	材積二尺目通直徑一尺三寸長さ八九間
	一尺五寸以上	二五	二〇〇	裏白縦第一行に同じ。
五葉松	一尺五寸以上	三五	一〇〇	裏白縦第二行に同じ。
	一尺五寸以下	二五〇	五〇〇	二尺目内外
雜木		三七〇	一、一〇〇	
計				

表中裏白縦五葉松の二種にありては普通目通直徑一尺五寸以上のものを伐採するが故に一町歩の産出材積は約四百尺と看做すべきなり故に若し西田技師の臆測の如く眞に森林を爲せる部分を二百五十方里即ち三十八萬八千八百町歩と假定し前出四百尺の割合を以て總材積を算出すれば無慮一億五千五百五十二萬尺となる假りに其半額を産出するものとせば總産出額は七千七百七十



六萬尺<sup>メ</sup>にして若し年伐額を百萬尺<sup>メ</sup>とせば七八十年にして一逕しするの割合なり而して實際の年伐額は幾許なりや統計の徴すべきものなければ之れを確むるに由なしと雖ども今操業者の言に據れば年々大東溝に集來する伐數は三千乃至四千組なりと云ふ一筏の材積は二百五十尺<sup>メ</sup>乃至四百尺<sup>メ</sup>なるが故に平均三百二十五尺<sup>メ</sup>にして又筏數の平均を三千五百組とせば總材積百十四萬尺<sup>メ</sup>となる左れば大體に於て全地方森林の伐採材積は大約百萬尺<sup>メ</sup>と概算して大誤なからん而して現今伐木地より輸送せらるる材積は鴨綠江本流を下るもの六割渾江を下るもの四割の比にして又清韓兩國によりて比較するときは滿洲は其九割を占め殘餘は韓國の部に屬すと云ふ。

以上は専ら南方鴨綠江方面に於ける林況なり而して北方豆滿江の流域に於ても鬱蒼たる森林尨大なる地積を占め其蓄積又多大なりと雖ども木材の搬出大に困難なるものあるが故に今日未だ多く利用するに至らずと云ふ。

前掲二大江の流域に於ける大森林の外尙ほ全國に於ては禁伐林なるものありて各所に點在し稍林相を形成す今其二三を擧げて林況を概述せん。

平安北道の西南義州の白馬山には古來よりの禁伐林あり美林と稱すべからずと

雖ども當該地方一帶樹林の存在せざる處なるが故に其名顯はる。

白馬山は義州を距る東南二里半海拔九百尺地勢は東西に狭く南北に走り絶頂より南面は原野狀を爲し草生地にして其北面は則ち森林を成す林相は山岳の上部下部によりて多少の差異あり山頂は「シラジ」「ミツナラ」「モミヂ」「カヘデ」「ハリギリ」「アヅキナシ」等の混生林にして赤松其間に點在し山麓は「カシハ」「ハンノキ」「ヤナギ」等多く樹齡百年以上の天然林たり。

次は碧潼郡の達覺山に於ける森林なり達覺山は一名飛來峯と稱し碧潼の東南十里昌城の東北十二里群山の間に屹立する著名の高山にして海拔四千八百尺兩郡の境界を爲す森林は既に擇伐濫採せられたる後なるが故に良材に乏しと雖ども尙ほ林齡百年以上の鬱鬱たる林況を呈し往時の林相を窺ふに足る今西田學士の調査に基き該山岳林木分布の狀況を示せば概ね左の如し。

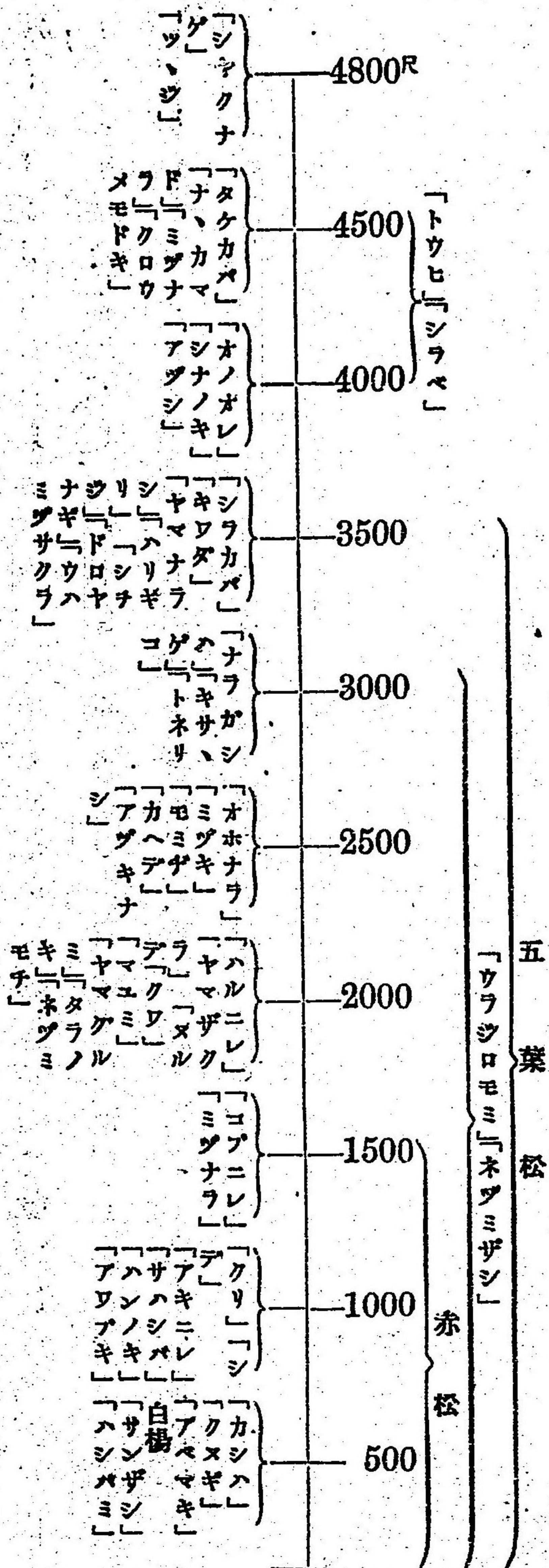


朝鮮は國民經濟の程度今尙ほ低く生活上木材を要すること比較的鮮なし然れども其所要の量は原料供給の關係上地方によりて多少の差異あり一般に南方より北方に進むに従ひ漸く増加す今田舎に於ける家屋建築の状況を見るに普通の家は室數三個乃至四個にして周圍に十本内外の柱を建て若干の棟梁材を以て固結し他は殆ど全く土石より成り戸障子を有すること稀れなり床の如きは一般に温突を通ずる爲めに又土石を以て塗れり建築の方法此の如く粗糲簡單なるが故に建築材の需要僅少なるは推して知り得べく只都市の大家若くは官衙宮城の建築に於て多少巨材を要することあるのみ又全國に於ては籐笥を所有するものは

第二節 木材貿易

成り上部は砂岩を混じ林木の生育する區域は大凡六方に亘るが如し樹種は赤松主位を占め純林を見ることが稀れならずと雖ども多くは「オホナラ」「コナラ」を下木とし加ふるに又「カヘデ」「クリ」「ミネバリ」其他種を混生す林相は山岳の南北によりて異なり北面は一般に良好なるも南面は概して疎立にして劣等なり材積は一町歩二三百本一千尺内外と概算せらる。

此地方には榎、山毛櫸及び笹竹の存在を認めず山頂は草生地にして「シヤクナグ」「ツ、シヤクナ」「タケカバ」「トウヒ」等と混生す。終りに記すべきは鳥嶺に於ける森林なり該森林は慶尙道の開慶郡より忠清道の水安保に到る道途に當り兼て此兩道の境界たる山脈を占む此森林は韓帝の所有に係る禁伐林にして専ら帝室の用に供するを目的とす只枯損木に限り民間に拂ひ下げらるゝことあるのみ故に或は之れを生ぜしめんが爲めか往々火災に罹ることありと云ふ鳥嶺は拔海約六百呎確實ならずと云ふありて下部は花崗岩より





財産家の部類にして普通民の之れを有するもの稀れなり従て器具材の需要も多額ならざるの理なり其他橋梁の如きは多く之れを架せず偶之れあるも石材を使用するが故に之れに對する需要又少なし此の如く木材の需要僅少なりと雖ども前記諸般の用に供せらるるものは専ら松材なりとす蓋し其以外に有要樹種少なければなり其他薪炭は炊事并に温突用として日常缺くべからざるものなりと雖ども彼等が常用するものは柴草若くは松、榲、枹等の枝條にして幹材を使用するが如きは殆ど絶無のことたり此の如き粗末なる燃料なるにも拘らず彼等全體が消費する年額は莫大なる巨額に達するものなり會て中卒田技師の計算せし處を見るに一戸平均四室(一室は二三疊敷より八疊敷に至る大さの住家)に於ては年平均三十駄の燃料を要する割合にして一駄の平均相場を韓貨四元五十錢とするときは一戸の年額一百三十五元となる因て全國全體に對しては一億八千九萬元即ち日貨に於て約九千四百五十萬圓の多額となるを見る之れを我邦九百萬戸一戸一々年平均薪材代價五圓として四千五百萬圓なるに比すれば豈驚くべき巨額ならずや。

程ずるに韓人の木材を消費すること比較的鮮少なるを以て森林の状況彼の如く

にして木材の供給不充分なるにも拘らず今日迄格別の不足を感せずよく其權衡を保てり然るに近年邦人の彼國に在住するもの漸く増加し鐵道其他の事業次第に勃興するに連れ木材の需要又大に加はり外國殊に本邦より輸入せらるるもの著しく増昂したり試に最近三ヶ年間本邦より彼國に輸入せし數量及び原價を見るに概略左表に掲ぐるが如し(田中技師の報告に據る以下の諸表皆之れに準ず。)

品目	一千八百九十九年		一千九百年		一千九百一十年	
	數量(斤)	原價(圓)	數量(斤)	原價(圓)	數量(斤)	原價(圓)
竹	—	—	—	—	—	—
竹材	—	—	—	—	—	—
木	—	—	—	—	—	—
木炭	—	—	—	—	—	—
寸楠木	—	—	—	—	—	—
鐵道枕木	—	—	—	—	—	—
製木材及び板	—	—	—	—	—	—
竹製品	—	—	—	—	—	—
木製品	—	—	—	—	—	—
計	二,三〇六,九〇一	一,三八六,六三三	二,五〇三,六四四	一,五二九,八四〇	二,三三六,三三四	二,六四四,〇七三

表中數量原價を掲げざるものは税關に等載なきものとす以下之れに依ふ。



即ち表示の如く各品目に就ては多少の増減ありと雖ども價額の合計に於ては年々著しく増加するを見るべし而して此等林産物は元より彼國の諸港に輸入せらるゝ處なるも之れを消費するものは殆ど全く在住の本邦人にして彼國土民の如きは只僅かに竹材及び板材の一部を使用するに過ぎず而して彼國に輸入せらるゝ林産物は多く本邦産のものなりと雖ども仁川港にありては支那より輸入せらるゝもの又全くなきにあらず今最近五ヶ年間全港に於ける此等兩國の輸入額を調査するに木竹材及び其製作品並に木炭籐等を合して左表の如き割合なり但し圓を以て單位とす。

國名	年度				
	一千八百九十八年	一千八百九十九年	一千九百年	一千九百零一年	一千九百零二年
日本	三、五九五	三、三二〇	三、九五六	二、四八〇	四、三三〇
支那	二、四四四	六、二七五	六、〇三五	三、七五〇	九、六八三
合計	三、四三九	二、九三五	四、五六一	二、八三〇	五、三三三

即ち本表の如く支那よりの輸入は甚だ少なく我邦の四分の一乃至十分の一を占むるの小額なり。

以上は専ら輸入の關係なれども彼國より輸出するもの又全くなきにあらず就中重要なるは五倍子柏實及び桐材等なり而して本邦へ輸出せらるゝものは主として五倍子及び桐材の二種とす試に一千九百年及び一千九百零一年の兩年度に於て釜山仁川元山の三港より本邦に輸出せし總額を擧ぐれば左表に示すが如し但し他の五港よりの輸出は殆ど之れなきが如し。

品目	年度		數量	原價
	年	度		
五倍子	一千九百年	一千九百零一年	三五、四三〇斤 二、三九四斤	一一、〇八一圓
	一千九百零一年	一千九百零二年	二〇、四〇〇斤 三、三三三斤	五、四七八圓
板材	一千九百年	一千九百零一年	一五圓	七五圓
	一千九百零一年	一千九百零二年	—	—
木材	一千九百年	一千九百零一年	二、六二一圓 一、三四〇圓	三、〇七六圓 一、三八六圓
	一千九百零一年	一千九百零二年	—	—



終りに臨み元山仁川の兩港より支那に向つて輸出せし總額を掲げん而して輸出品は専ら五倍子及び柏實の二種にして其額我邦に對するものより一層尠なし尙ほ左表に就て詳細を知るべし。

品目	年 度		数	量	原 價
	一 千 九 百 一 年	一 千 九 百 零 年			
合 計	一 千 九 百 一 年	一 千 九 百 零 年	三 五、四 三〇 斤	二 〇、四 〇〇 斤	一 四、一 五七 圓
五 倍 子	一 千 九 百 一 年	一 千 九 百 零 年	一 〇、五 〇〇 斤	一 〇、三 五〇 斤	七 三二 圓
柏 實	一 千 九 百 一 年	一 千 九 百 零 年	一 一、九 一五 斤	一 〇、〇 五〇 斤	三、五 二六 圓
合 計	一 千 九 百 一 年	一 千 九 百 零 年	三 六、八 三〇 斤	二 〇、四 〇〇 斤	一、四 七三 圓
合 計	一 千 九 百 一 年	一 千 九 百 零 年	三 六、八 三〇 斤	二 〇、四 〇〇 斤	四、二 五八 圓
合 計	一 千 九 百 一 年	一 千 九 百 零 年	三 六、八 三〇 斤	二 〇、四 〇〇 斤	四、七 八三 圓

第十八章 支那

第一節 森林狀況

支那に於ても朝鮮と同じく未だ信頼すべき統計なく全國の事情を窺ふに頗る不便を感ずる處なり幸に茲に宮島長倉及び宮崎三技師の復命書を得たれば之れに據りて其概梗を叙述することとせり。

彼國に於ても林業の程度今尙ほ低く到る處濫伐荒廢を極め山岳は草生にあらざんば秃兀にして鬱蒼たる美林の如きは容易に觀るべからざる狀況なり然れども全國は元來領土廣く無慮一百万方に亘るを以て森林を爲せる處又全くなきにあらず殊に滿洲及び福建を中心とする森林の如きは其最も著明なるものなり而して全國に於ては未だ地積の測定なきが故に精確なる林面を知ること能はずと雖ども北方滿洲にあるものは吉林盛京の兩省に跨れる長白山系の一大團地より斷續して黒龍江省の興安嶺伊勒呼里山に到る森林にして他は南方福建省より起り江西湖南及び貴州の各省に到る森林並に浙江省より安徽省に連亘する一帯の山脈に於ける森林なり其他山東省の内部に於ても多少の森林あるも良材に乏し



又雲南四川の諸省に在りても廣大なる美林少なからずと雖ども土地僻偶交通不便なるを以て利用の途未だ開けず黒龍江地方の森林も亦然り。次に森林所有の關係を見るにこれ又朝鮮と同じく區別明瞭ならず左れど國の南北によりて多少異なる處あり蓋し此南北は文化の程度經濟の事情に於て大なる差等あればなり北方滿洲の森林は廣漠たる無人境に在りて個人の所有にもあらず將た團體の所有にもあらず所謂卒土の濱王土にあらざるなしの論法により政府の所有に歸せり之れに反し南方に在りては開明の度高く土地も亦大に開拓せられたるが故に所有關係に於ても自から多少の差異あり彼の福建省の如きは既に往時より公山私山の別あり公山は即ち政府の所有に屬し殆ど一木もなき草地なり私山は所謂私人所有の山地にして草地又少なからずと雖ども森林を以て被はるゝの地甚だ多し。森林の配布所有の關係略ぼ前段の如し而して現今全國に於ては森林の利用未だ開けず多くは空しく寶物を死藏する處なりと雖どもその稍開發利用せらるゝものは前記南北の二大森林にして實に全國木材供給の主腦たり因て今此等森林の利用及び搬出の狀況に關して少しく述ぶる處あらん。

北方の森林 支那北部に於ける木材の生産地は所謂長白山系に屬する森林にして鴨綠江に沿うて延長六十里内外幅は殆ど知るべからずと雖ども其内長白山脈は一百五十里に亘ると云ふ以てその一斑を知るべし而して樹種及び林相の關係はもと天然林なるを以て頗る複雑を極むと雖ども大體に於て既に朝鮮の部に於て述べたると同じければ再び贅せず又此等森林より木材の搬出せらるゝ方面は數多に分ると雖ども主要なるものは南北西の三方にして専ら河川を利用して筏流となす今其最も盛大なる方面より順記すれば 第一 鴨綠江本流及び其支流渾江により南方の大東溝に向て搬出せらるゝもの 第二 松花江によりて北方吉林府に到るもの 第三 陸川の兩途を利用して西方奉天府に輸送せらるゝもの 是れなり 就中木材の最も多量に運出せらるゝは大東溝方面にして其生産地は前記の如く長白山脈の一帯及び鴨綠江を隔てゝ之れと相對する朝鮮方面の諸山なり此等地方は樹木翁鬱として人跡到らず斧鉞の容らざる原生林より成り所謂鴨綠江本流及び其支流の水源を爲す從て木材の搬出にも此二川を利用する處にして此二川は渾江口に於て合併し終に大東溝に達す更に鴨綠江本流の水源地方に於ける運材の狀況を見るに吉林省部内にある全國二十一道溝より始めて



小筏流を爲しこれより二十里を下れば蕙山鎮にして尙ほ十里の下流にある羅暖堡に到りて大筏に改組す由て該本流を下る大筏の出發點たる羅暖堡より其到着點たる大東溝に到る間は大約一百五十四里に上る長距離なりとす而して其支流たる渾江の水源地方も亦本流と同じく長白山脈内に存す只山勢の異なるが爲めに稍運材の方面を異にし西方に搬出せらるゝのみ其關係地方は盛京省懷仁縣の一部及び通化縣の全部なり而して其森林地は大東溝より八十里餘にして渾江口に達しそれより約二十里を廻りたる通化縣内より始まると云ふ。

南方の森林 南方著明の森林は既に一部分説明したる如く安徽浙江の兩省界より起り遠く湖南貴州界に連なる山脈にあり而して該山脈の北面は安徽江西湖南貴州の四省にして其南面は浙江福建廣西の諸省なり木材搬出の方面は地勢の關係運搬の便否により又分れて南北東の三方面となる而して其南方に出づるものは主として福建省材にして閩江によりて搬出せられ福州を市場となす之れに反して北方に向ふものは其運路湖南貴州及び江西の諸省に散在すと雖ども結局長江によりて搬出せられ漢口を主要なる市場となし其他江西省の一部は九江蕪湖等を市場となす終りに東方に出づるものは専ら安徽省材にして錢塘江により浙

江省の杭州に搬出せらる就中南方面たる福建省地方は第一に位し最も重要なる部分なり故に今茲に全省の林況を略述すべし。

福建省は支那の南部に位し山岳起伏し農耕を施すの地少なく従て内地は多く鬱蒼たる杉木即ち廣葉杉の森林を以て被はれ恰も我杉林の如き美觀を呈す又住民は大に愛林思想に富み植林に熱心にして造林事業の發達すること他省に多く其比を見ざる所なり森林は省の中央を縦貫する閩江の上流地方に多く福州より北方内部に入ること約三十里にして始めて森林を散見しそれより次第に江西省界に進むに従ひ廣大なる美林を見る其他浙江省界に於ても樹林少なからずと云ふ要するに福建江西の兩省界を爲す處の山脈を主とし東に延びて浙江省界に達する一帶の連山は所謂杉木の産地にして殊に福建省に屬する方面は良材最も多し即ち閩江を廻ること約六十里にして延平府あり此地は所謂東西兩溪の合流點にしてこれより東十八里にして建寧府あり西四十五里にして邵武府又九十里にして汀州府あり此等の諸府は良材の産地を以て天下に鳴る。

次に森林の利用時期に關して一言せん林木伐採の年齢に就いては別に特定したるものなく只使用上適當の大きに達したる時期に於て伐木するのみ強めて云は







## 第二節 木材貿易

支那に於ける木材需要の關係は我邦に於けると大に異なるものあり彼國家屋の如きは國の南北によりて多少其構造を異にすと雖ども多くは磚瓦を以て外圍を築き木材は只内部の造作柱梁等に使用せらるゝのみ而して南清にありては往々純然たる木造家屋を見ることありと雖ども北清に至ては絶えて之れなし從て之れに對する需要は比較的僅少なり而して此等の目的に供せらるゝ樹種は主として廣葉杉及び五葉松なれども場合により落葉松其他松を利用することあり之れに反し器具用材に至ては其需要頗る大なり是れ蓋し彼國生活の状態家屋の構造等の然らしむる所にして居常卓子椅子を用ゐ又室内には押入戸棚の設なく特別木製の箱類を要すること多ければなり而して之れに要する樹種は一般に潤葉樹なれども又往々五葉松廣葉杉を使用するもの少なからず殊に彼國の特色なるは棺材として樟五葉松及び廣葉杉の如き高貴なる木材を多量に消費することなり加ふるに彼國の俚言南船北馬の示す如く南方の交通には専ら船舶を使用し北方の往來には主として馬車を利用するを以て之れに對する針潤兩葉樹の需要又

決して少々ならず其他橋梁の架設には多く石材を用ゐると雖ども土工築港若くは外國人の家屋建築には、オロンゴンバインの如き巨材を要すること多量なり叙し來たれば彼國木材の需要決して鮮少なりと云ふべからず左れば彼國實際の需要額は如何是れ又統計不備にして今容易に知るべからずと雖ども假りに内外國産材の供給額を採て其需要額と看做せば一千九百二年度の如きは總計約一千八百八十三萬圓餘（一弗は我九十三錢として換算す以下之れに倣ふ）の巨額に達し内自國産材の分は一千五百餘萬圓にして外國産材の分は三百八十二萬圓の割合なり但し薪炭は各地需給相辨じて貿易上に重大なる關係を有せざるが故に之れを略す又奉天吉林其他にして木材の需給相辨ずる地方のものは凡て之れを除外せり全國に於ても將來社會の進歩するに従ひ木材需要の増加するは賭易きの理にして新進の需要として既に其萌芽を顯はせるものは鐵道枕木、燐寸軸木、製紙原料等なり其他土工築港用材の如きも需要の益加はると疑ふべからず一方には此の如き關係を有し他方には森林の狀況彼の如くなるが故に到底自國産材を以て其全需要を充實すること能はず多量を外國材の輸入に仰がざるべからざるや必せり現在鐵道枕木、燐寸軸木の如きは悉く本邦より供給する所なるのみならず日常



の用材に於ても輸入額の年々増加するは明かなる事實なり試に一千八百九十三年より一千九百二年に至る十年間に於て諸外國より輸入せし總額を検するに其間多少の増減ありしと雖ども次第に増加し當初の輸入額は漸く一百七十二萬圓なるに比し十年後の今日に至りては三百八十二萬四千圓の巨額となり實に二倍以上の増加を現はせり尙ほ詳細は左表に就て觀るべし但し一海關兩は宮島氏の復命書にある數價より打算し我一圓二十九錢二厘として換算す以下之れに準ず。

外國產材輸入價額

年 度	材 種	角材及び板材	其他木材	合 計
一千八百九十三年		一、三三三、六〇〇	三八一、六〇〇	一、七一五、二〇〇
一千八百九十四年		一、六五一、四〇〇	五三一、七〇〇	二、一八三、一〇〇
一千八百九十五年		一、五八二、二〇〇	三四八、三〇〇	一、九三〇、五〇〇
一千八百九十六年		一、五二七、八〇〇	四九七、一〇〇	二、〇二四、九〇〇
一千八百九十七年		一、七一〇、七〇〇	四八二、一〇〇	二、一九二、八〇〇
一千八百九十八年		一、二四八、九〇〇	四九〇、二〇〇	一、七三九、一〇〇

而して此等輸入に關係する諸國は頗る多數に亘ると雖ども其主なるものは北米、日本、海峽殖民地及び暹羅等にして専ら建築材を供し又南洋諸島より器具材を給す尙ほ参考の爲めに全國に於て木材の外國貿易上最も重要なる諸地に於ける輸出入の關係を附説せん。

全國に於て木材の取引上主位を占むるは上海にして一千九百一年度の如きは總輸入額三百七十九萬圓以上の多額に達す之れを内譯すれば新海關通過の分は約一百九十四萬圓にして舊海關通過の分も亦之れと殆ど同一額なり而して後者は全部内國產材の取引にして前者は専ら外國產材なれども又少量の内國產材をも包含す而して吾人が最も注意を拂ふべきは外國產材の貿易關係なるが故に茲に全國稅關貿易年報に據り新海關通過の木材輸出入額を掲げん。

一千八百九十九年	一、六九〇、八〇〇	四九一、三〇〇	二、一八二、一〇〇
一千九百一年	一、三三六、七〇〇	三七七、五〇〇	一、七一四、二〇〇
一千九百二年	二、三三八、六〇〇	四五〇、一〇〇	二、六八八、七〇〇
一千九百二年	二、九六五、五〇〇	八五五、四〇〇	三、八二〇、九〇〇



材種	一 千 九 百 年		一 千 九 百 一 年	
	數	價 額	數	價 額
硬質角材	三六四、四二立方	一四一、二四五	五八四、八四二立方	二四一、七九七
同板	三八、九八五同上	一四八、〇一九	六六六、七八九同上	二七五、六七七
「テイク」角材	三七、五三八同上	三三、九五〇	六、八六七同上	一一、〇六〇
同板	三三、一七三同上	二〇、九五九	五四、五四三同上	七、九九二
軟質角材	一、三六七、九四五立方	四〇、六五〇	三、九三七、二七平方	一一、六九六
同板	一、六五八、〇八五同上	五二、一三九	二〇、八九〇、九七六同上	五、九三三、九一〇
樟及び丸太	五本	一、九八八	一、八四五本	二、〇二六
橋及び長材	—	—	三一本	三〇、二
木頭	—	—	一八五本	一、九〇
カマ	一、三、八二八本	二、五〇二	一、〇、一一九本	二九、四二四
毛	一、〇、六一同上	三、七〇〇	一、三八三同上	五、九八六
鳥	二、九四同上	一〇、三三五	二、五同上	八、六六五
沈	—	—	六本	三、三三八
呀	一、二、七三本	三、七三七	三、九四二本	一、七、八三八
降	三、三三同上	二、八九七	二、〇同上	七、六七七
鐵	八、六六一同上	一、六、七八三	一、三、八〇八同上	二、〇、二
阿	一、三、二七五同上	四、五九五	二、〇、六五同上	三、〇、三三
紅	—	—	—	—

即ち本表の示す如く外國よりの輸入は頗る多額にして而かも年々増加の傾向を示し一千九百一年度の如きは一百六十萬圓の巨額を計上するに反し輸出は各種合して僅かに一萬圓内外の小額に過ぎず貿易は著しく受働的なるを知るべし試に外國産材の輸入を重要材種に分ちて示せば概ね左表の如し。

輸出入	一 千 九 百 年		一 千 九 百 一 年	
	數	價 額	數	價 額
外國産材輸入額	—	一、〇二八、〇〇〇	—	一、五九八、一〇〇
内國産材輸入額	—	三三〇、一〇〇	—	三七〇、三〇〇
外國産材再輸出額	—	二二四、四〇〇	—	一五四、二〇〇
内外國への輸出額	—	二一三、七〇〇	—	一四三、一〇〇
内國産材再輸出額	—	五七、六〇〇	—	一九四、九〇〇
内外國への輸出額	—	五六、九〇〇	—	一九四、九〇〇
内國産材輸出額	—	一二、七〇〇	—	二五、六〇〇
内外國への輸出額	—	一一、九〇〇	—	二四、三〇〇







合 計	英 國		歐 洲 大 陸		濠 洲		暹 羅	
	計	硬質板材	計	軟質板材	計	硬質角材 同板材	計	「テイク」角材 同板材
—	—	七九九立方	—	四、五〇〇平方	—	一九、三六九立方 四三同上	—	—
八九九、七二七	三〇〇	三〇〇	二二五	二二五	七、五二五	七、五〇〇	—	—
—	—	—	—	一七五、五九九平方	—	—	—	四〇、六八三立方 五、九九八同上
一、四一六、五五五	—	—	四九九一	四九九一	—	—	六三、三三七	五五、一九〇

表示の如く輸入國中第一位を占むるは北米合衆國にして其額最も多く一千九百一十一年度にありては四十三萬圓の多きに達し前年度の約倍額となれり而して全

が此の如く輸入の好況を呈する所以のものは幾多の原因あるべしと雖ども主として材質良好にして造材の寸法正確なるが故に使用上便利なるのみならず又長材なるを以て各種の目的に適合し且取引上に於ても時に委託販賣的方法を取りて大に輸入商の便宜を謀るが故に價格の高きを補償して尙ほ充分なる剩餘あるに由るものなり輸入材種は専ら「オレゴンパイン」の板材及び角材なりとす。日本よりの輸入は漸く近年の發達に屬すれども大に盛況を極め一千九百一十一年度の如きは其額二十八萬圓内外に達し海峽殖民地の輸入と相拮抗し輸入國中第二位若くは第三位を占むる處なり然れども之れが輸入を爲すものは多く清商にして日本内地に仕入店を設け大に發展を計れるに反し本邦人の袖手傍觀對岸の火災視して顧るもの少なきは甚だ遺憾なりと云ふべし而して輸入の材種は主として樺、松等の板材及び角材にして稀れに梅材の參加するものありと雖ども樺其他の種類に至ては極めて稀少なり。日米以外の諸國より輸入するものは其額巨大ならず一千九百一十一年度にありては合計六十九萬八千圓にして殆ど日米兩國の輸入額に匹敵する處なり然れども注目すべきは暹羅より來たる「テイク」材の輸入にして其額年々増加の好況を呈せ



以上に反し上海よりの輸出は甚だ微々たるものにして一千九百一一年度新海關通過の輸出額の如きは僅かに三十九萬圓内外にして輸入額の約二割なるに過ぎず而かも専ら内地に輸送せられ外國に向へるものは極めて小額なり。上海に次て論ずべきは天津に於ける貿易状況なり天津は北清隨一の貨物集積市場にして木材の如きは最も貴重なる貿易品に屬す然れども主として取引するは内國産材にして外國産材の貿易は甚だ輕少なり試に一千九百一一年度に於ける輸入額を算するに其原價に於て約三百七十九萬二千圓を計上し内舊海關を通過するものは概算上一百九十三萬八千圓に達し新海關を通過するものは約一百八十五萬四千圓なる割合なり更に棧者を内外國産材の輸入額に分てば左表に掲ぐるが如し但し日本産材木の輸入額六十五萬圓内外ありと雖ども之れに包含せざるを以て外國産材の輸入は主として北米の「オレゴン・バイン」なりと知るべし。

内外國別輸入	年	
	一千九百一十年	一千九百一一年
外國産材輸入額	九、八〇〇	一九七、一〇〇

内國産材輸入額	二九二、三〇〇	一、六五六、七〇〇
合計	三〇二、一〇〇	一、八五三、八〇〇

更に外國産材の輸入を各材種に分ちて示せば左表の如し。

材種	年度	
	数量	價額
軟質板材	—	—
紅木	三、三五八	七、四二三
秤用材	一、二、七四〇	二、三五八
計	—	九、七八〇
軟質板材	—	—
紅木	五、〇二五、七四九	一九四、四〇九
秤用材	六、七一	一、三八二
計	—	一九七、一〇五

此の如く巨額の輸入ありと雖ども専ら内地の需要に供するものにして外國輸出の如きは殆ど全く皆無なり而して其輸出先の主なるものを見るに第一北京にして其他保定正定等の諸府に輸出せらるゝもの少なからず専ら白河又は運河を利



用して筏流若くは舟運に依るものとす。  
 大東溝は盛京省奉天府安東縣の所轄に屬し木材取引の爲め特設せられたる一大要港たり而して從來木材の取引は専ら安東縣に於て行ひたりしが近時取引額の劇増せし結果此地に移せりと云ふ蓋し大東溝は之れを安東縣に比すれば筏の繋留に便なるのみならず河水漲溢するも木材流失の虞なく木材の留置場廣大にして輸出に供する船舶の往來碇泊の便利あるが故なり而して全地に於ける木材貿易は主として内國産材の内陸輸送にして外國貿易に直接の關係を有せずと雖ども廣く北清一帶の諸地に供給し而かも鴨綠江材の集散する主腦なるを以て茲に一言す。

全地より木材を輸出するに當りては先づ鴨綠江を流下して來たれる筏を離解して孰れも支那船に搭載す從て長大の木材は往々好個に切斷するの要あり之れを行ふは木材取扱商店の業務たり而して船舶は該市街の木材留置場より海洋に通ずる河流の内外に繋留し其大小によりて碇泊所を異にす即ち其河流内に容るものは八百石積内外の船舶にして河流外に碇繋するものは千五六百石積なりとす全地よりの輸出高に關しては統計の徵すべきものなく精確に之れを知ること難

しと雖ども今當業者又は木稅局に就て調査せし結果より推算すれば大約左表に掲ぐるが如し。

年 度	輸 出 高	數	量	價	額
一千九百一一年			三、五〇〇筏 (料板一、一五五、〇〇〇本)		二、七三、二〇〇
一千九百一二年			四、〇〇〇筏 (料板一、三二〇、〇〇〇本)		五、一六、三〇〇

而して此等の輸出先は前記の如く全く内地各所にして其主要なる地方は天津北寧芝罘旅順口青泥窪灣營口其他錦州義州復州山海關等枚舉に遑あらず就中天津に向へるもの最も多く總輸出額の二分の一乃至三分の二を占む。  
 次に來たるは支那四大鎮の一たる漢口なり漢口は上海より長江を遡ると五百八十二哩の上流にありて漢水の長江に流入する交點の下部を占む此の如く其位置該大陸の中央に在りと雖ども水陸交通の便頗る多く南北には鐵道の設けありて一方北京に達し他方廣東に通じ東西には長江を上下して舟楫の便あり實に四通八達の地にして饒多なる内地産物の集散上一大樞要の市場たり木材取引上より



觀るときは長江筋に於ける一大供給場にして下流の沿岸各地に輸出す即ち長江上流の原産地より輸送せらるゝもの皆此地に集來するのみならず又同時に外國産材の輸入ありとす試に其輸出入額を検するに新海關を經由するものは概ね左表に掲ぐるが如し。

内外國	入		出							
	年	度	年	度						
外國産材輸入額	一	千	九	百	年	一	千	九	百	年
内國産材輸入額	三六、〇〇〇									
内國産材輸出額	四三八、二〇〇									
	三〇、九〇〇									
	三〇、九〇〇									
	五六、一六〇〇									

本表中外國産材の輸入を更に重要材種に分ちて表示せば

材種	年度		年度							
	一	千	九	百						
軟質角材	一	千	九	百	年	一	千	九	百	年
	五	四	二	三	六	二	五	九	六	〇
	二	五	〇	六	六	四	三	二	七	〇
	一	〇	〇	六	二	二	三	三	六	六

前表中外國産材は主として「オレゴンパイン」「タイーク」及び紅木其他鐵道枕木にして多く全地に於て消費せらるゝものなり而して内國産材の輸出は全く全國內地に向へるものにして外國に輸出せらるゝもの一もあるなし又輸出材は表示の外尙ほ舊海關を通過するもありと雖ども統計の據るべきものなければ之れを知るに由なし只一ヶ年の輸出額總計約三百二十六萬圓と概算せらるゝのみ。

次に説明すべきは福州に於ける貿易状況なり福州は北清の大東溝と相對し全國雙絶の木材市場にして取引の多額なる販路の多方面なる實に清國第一たり而して大東溝に於ては専ら内國貿易にして外國産材の輸出入は殆ど全く之れなしと雖ども福州に至ては管に内地輸出のみならず又外國殊に臺灣海峽殖民地に向て輸出せらるゝもの少なからず而して全地方は所謂杉木の本場にして良質の木材に富み外國産材の輸入の如きは殆ど全く之れなく専ら内地産材の輸出を以て主

材種	一	千	九	百	年 <th>一</th> <th>千</th> <th>九</th> <th>百</th> <th>年 </th>	一	千	九	百	年
「カムストック」	一	二	〇	一	〇	一	一	四	七	〇
「ラカ」	四	七	七	九	一	七	七	八	三	〇
計	二	五	九	六	五	三	〇	八	六	三



眼とす今最近二三年間に於ける輸出額を見るに概ね左表の如し。

年	新海關通過の分		舊海關通過の分		合計
	数量	金額	数量	金額	
一千九百年	—	—	—	—	—
一千九百一年	—	—	—	—	—
一千九百二年	—	—	—	—	—
合計	—	—	—	—	—

表中一千九百二年度分は調査稍正確なりと雖ども他の兩年度分は舊海關通過の統計不備なりしが故に只概算を示せるのみ要するに輸出の大部分は内國輸出にして新海關を通過する外國輸出は甚だ少なく僅かに二十萬圓内外なるに過ぎず而して輸出材の約九割は杉木丸太材にして其他は棺材等なりとす更に新海關通過の輸出額を内外國に分ちて示せば左表の如し。

輸出年度	外國輸出額	
	数量	金額
一千九百年	—	—
一千九百一年	—	—
一千九百二年	—	—
合計	—	—

内國輸出額	合計	
	数量	金額
—	—	—
—	—	—
—	—	—
合計	—	—

尙ほ参考の爲め外國輸出を重要材種に分ちて表示すれば

材種	一千九百年		一千九百一年		一千九百二年	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額
軟質角材	—	—	—	—	—	—
同板材	—	—	—	—	—	—
丸太	—	—	—	—	—	—
檜材	—	—	—	—	—	—
石油箱材	—	—	—	—	—	—
計	—	—	—	—	—	—

表中×印は再輸出額なりとす。

次に注目すべきは芝罘よりする桐材の輸出なり桐材の原産地は滑縣及び黃縣にして殊に後者より良材を産出す而して交通便利なる地方にありては既に多量に



伐木し今日良材を得ること難しと雖ども深く内地に入れば尙ほ多少之れあるが如し一般に地上一間の高さに於て周圍八尺に達するもの甚だ稀れにして三四尺のもの最も多しと云ふ材質軟にして色澤悪しく本邦材に比して大に劣る所ありと雖ども變色することなし年々我邦へ輸出する額は六七萬圓を下らずと云ふ尙ほ最近二三年間に於ける輸出額を擧ぐれば下駄材及び丸太材を合して左表の如き割合なり但し一擔は我十六貫二百四十三匁三分とす。

年 度	輸 出 額	數	量	價	額
一 千 九 百 年			二二、六四四		九四、三四七
一 千 九 百 一 年			一五、七四九		七一、〇一一

終りに臨み附記すべきものあり他なし支那に於ける鐵道枕木及び燐寸原料の需要供給の關係なり。  
 全國に於ける枕木の需要は從來多く北清地方に在りしが近時鐵道事業の發達するに連れ漸く南清地方にも需要せらるゝに至り而して北清地方所要の枕木は

天津方面より輸入せらるゝものにして之れが供給者は從來日米兩國なりしが現今は殆ど我邦獨占の好況を呈せり是れ蓋し我邦の位置便利にして材價低廉なるの致す處なり而して我邦より供給する枕木は主として北海道産の鹽地桂楡等にして北米より來たるものは「オレゴソバイン」なり試に一千九百三年十一月初旬清國普通市場に於ける枕木一挺の相場を尋ねるに日本材は一圓三十九錢内外にして米國材は一圓三十三錢の割合なり北清に反し南清地方殊に京漢鐵道に使用せらるゝ枕木は管に日米より供せらるゝのみならず又佛露より輸入せらるゝもの少なからず然れども前記北清の場合と同一の理由により日本材常に優勢にして其額最も多し一千九百二年京漢鐵道用の爲め上海經由漢口に輸入せられたる數量は二十五萬挺に上り内佛露兩國材各五萬挺にして日本材は十五萬挺なり露に全地に於ける一挺の相場を擧ぐれば日本材一圓十二錢に對し佛國材二圓十六錢の比なり。  
 翻て全國將來に於ける枕木需要の如何を案ずるに前途頗る有望にして全國本土のみにて未設鐵道線路六千三百餘哩あり之れが新設に要する枕木は無慮一千九百萬挺にして一挺の相場我一圓と見積るも其價額一千九百萬圓の多額となる



加ふるに既設線路既に一千三百六十哩ありて之れが補綴用として年々少なくなるとも五十六萬五千挺を要する處なり若し夫れ前記未設線路の愈完成するに至らば保線用枕木のみにて年々合計三百二十萬挺を要するの計算なり我邦枕木の輸出多望ならずや然るに近年我邦に於ても既に原料缺乏し内地の需要すら往々供給の困難を感ずる處なり一朝彼國の需要にして油然として起らんか到底之れに應ずるの見込なからん當事者たるもの今より供給の方法を講じて他日に備ふるの覺悟なかるべからず。

次は燐寸原料輸入の問題なり全國に於ける燐寸の需要も亦頗る多く年々増加の一方なり而して從來之れが供給者は日本及び歐洲なりしが近時は殆ど全く我邦獨占の狀勢となれり今最近一千八百九十四年より一千九百二年に至る九ヶ年間の輸入狀況を見るに其間多少の變動を免れずと雖ども次第に増加し一千八百九十四年度には僅かに二百十壹萬六千餘圓に過ぎざりしが九年後の一千九百二年に至ては約倍加して四百六十三萬二千餘圓となれり更に關係輸入國に分ちて之れを論ずれば歐洲産の輸入は漸く減少し當初の五十五萬餘圓は下りて八萬餘圓と爲れるに反し本邦産の輸入は頗る好況を呈し初年の一百五十六萬五千餘圓は

一躍して四百五十五萬餘圓の多額となり總輸入額の七割三分より上りて九割八分の多きを占むるに至れり尙ほ左表に就て其詳細を知るべし。

年 度	日 本 産 輸 入 額		日 本 以 外 の 外 國 産 輸 入 額	
	數 量	價 額	數 量	價 額
一千八百九十四年	五七、八九、五九六	一、五六五、八五圓	八二五、七三二	五五二、六四二圓
一千八百九十五年	七二、六五、四九三	一、九三〇、一八〇	八五〇、九六〇	五四三、三四圓
一千八百九十六年	七、七九三、四五〇	二、一六七、〇六六	五、六六、七三三	五、四五、六三〇
一千八百九十七年	八、九七四、一六八	二、三六七、六六二	二、七九、六六〇	二、八二、五三〇
一千八百九十八年	一、〇、七三〇、二五	三、〇六九、九九五	二、七九、二七九	二、八五、四三三
一千八百九十九年	一、一〇、九三三、三二	三、一七二、七四	三、〇五、八三六	三、三三、四四四
一千九百年	九、一六六、二四七	二、七五八、一九七	一、〇七、八六一	一、二九、九一六
一千九百一年	一、三〇、三〇、〇八	三、八二八、八八二	一、〇五、六五一	一、三三、三三三
一千九百二年	一、五、二六、一三三	四、四六一、四五圓	八〇、〇一七	八〇、六〇八

此の如く我邦現下の輸入狀況は頗る良好にして殆ど獨占的位置を有すと雖ども之れが果して將來にも持續するや否や大に講究を要する問題なり蓋しかの國內地に於ても近時燐寸製造の事業各所に勃興し漸く發達せんとする傾向を現せば



なり殊に漢口の如きは最もその盛況を極め既に外國産燐寸を驅逐せんとする形勢を示せり最近五ヶ年間全地に於ける輸入額が如何に減少せしか左表に據りて知り得べし。

年 度	日 本 産	歐 洲 産
一千八百九十七年	百四九、四七八	一八四、二八二
一千八百九十八年	七九、〇三〇	一八、三五〇
一千八百九十九年	三二五、〇〇五	六二、七六五
一千九百年	一七四、九三〇	一七、〇五〇
一千九百一一年	一八、六三五	

即ち表示の如く歐洲産は勿論日本産の輸入額も非常なる減程にして一千九百一一年の如きは其五年前の約三十分の一に下れるを見るべしかゝる勢を以て發達するに於ては將來全國が外國産の輸入を防遏するのみならず進んで東洋市場の覇權を掌握し恰も我邦が曾て外國産燐寸に對せし如く出入處を異にするの期なし

と云ふべからず我邦當業者たるもの大に警戒する處なるべからず然れども幸に彼等が使用する原料は彼の國産にあらずして殆ど全く日本産材なるを以て此方面の需要頗る多大なり而かも其輸入は年々増加し一千八百九十四年の十六萬餘圓は一千九百二年に至り劇増して三十七萬九千餘圓となり約二倍の増加を示せり。

年 度	燐 寸 原 料 輸 入 額
一千八百九十四年	一六〇、五〇〇
一千八百九十五年	一四九、〇〇〇
一千八百九十六年	一八六、四〇〇
一千八百九十七年	二二五、四〇〇
一千八百九十八年	二七〇、〇〇〇
一千八百九十九年	二八六、七〇〇
一千九百一十年	二九七、八〇〇
一千九百一一年	三八九、六〇〇



一千九百二十年

三七九、八〇〇

元より全國に於ても構寸に對する原料全くなきにあらずと雖ども近き將來に於ては到底全國の全需要を充實するの見込なきものゝ如しされば我邦當事者は今後方針を一變し益原料の増殖を計り之れを供給するの手段を採るを緊要とす。

世界各國之木材生産と輸出入前編終

木材生産と輸出入

正價金壹圓

明治四十一年七月四日印刷  
明治四十一年七月八日發行

著者 小出房吉

發行者 内田淺

印刷者 藤本兼吉

印刷所 株式會社 秀英舎 第一工場  
東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地



著作權所有

發行所

東京市日本橋區大傳馬町二丁目十六番地

内田老鶴園

電話浪花千三百三十五番  
振替貯金口座番貳壹四六番



フ4022

た 年

授教學大科農學大國帝北東  
述吉房出小 士博學林

# 策政林森

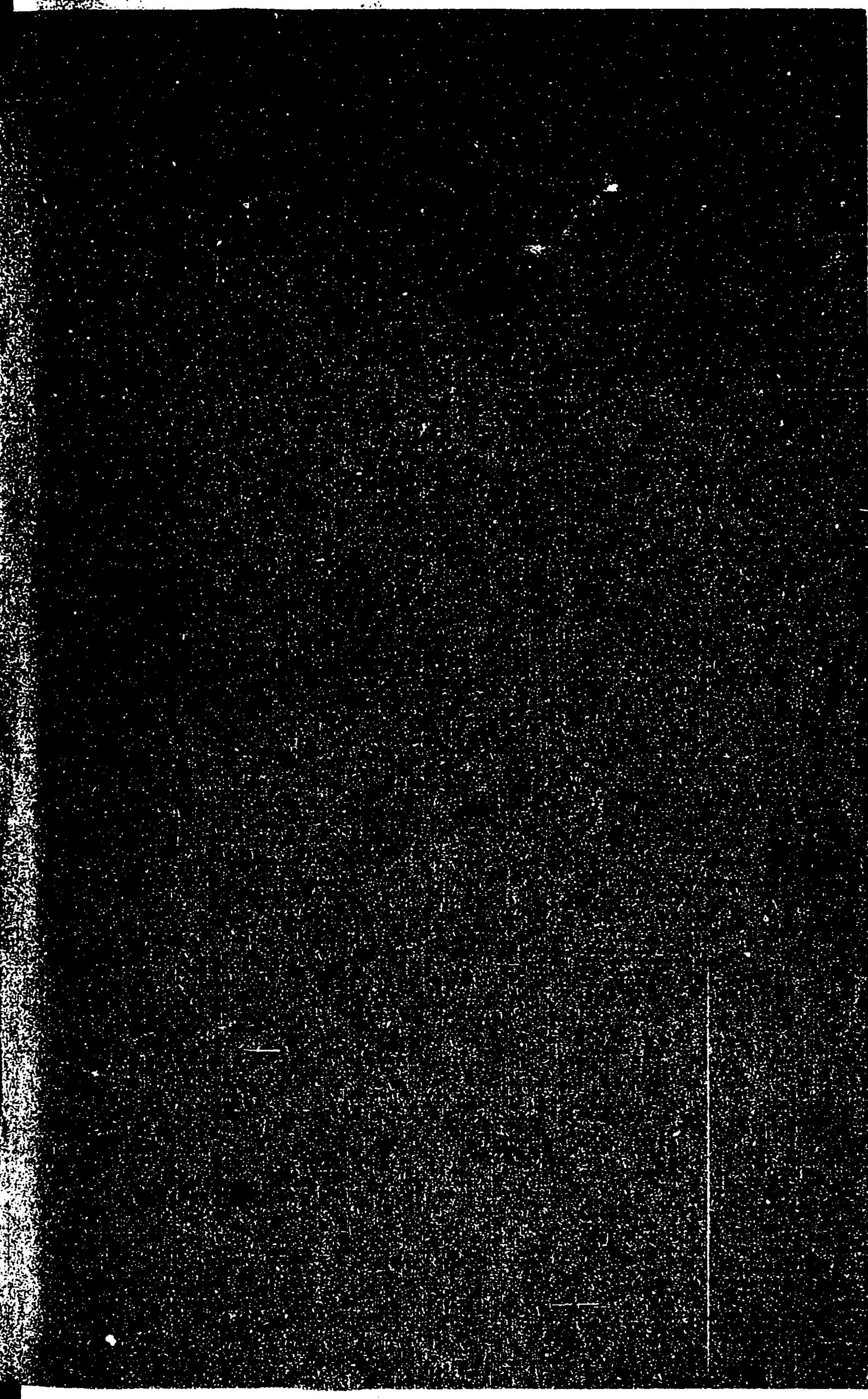
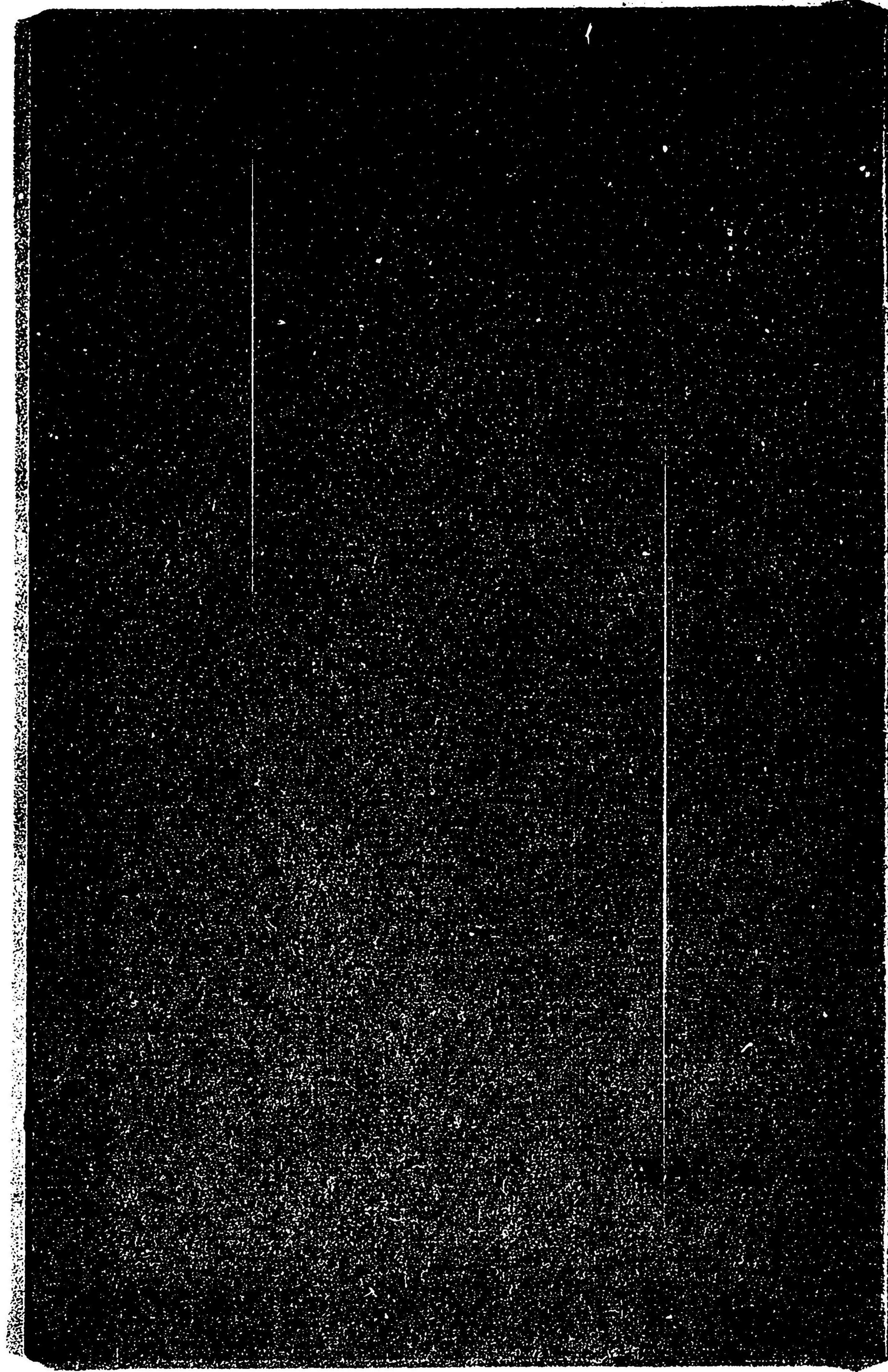
冊一全本美製上  
錢貳拾金稅郵◎錢拾圓壹金價定

近時國運の隆盛に伴ひ實業勃興森林の利用又一層集約となれり未開の森林を開發し國益を謀るは頗る良し然れども林政の方針を立て準據すべき軌道を示さずんば終に救ふべからざる悲境に陥らん抑林政の事たる深遠なる思慮と周到なる注意とを要するものにして一旦其方針を誤らば森林の濫伐林地の荒廢頻りに現はれ害毒の及ぶ處實に計るべからざるものあり故に苟くも一國の林政を議せむものは先づ斯學の要義に通じ各國の實例に徴し沈思簡考遺算なからん事を務めざるべからず博士茲に見る處あり此著を公にす其說の嶄新なる論の適切なる素より贅言を要せず而かも敘事平易要を摘みたるものは實に専門家のみならず又其以外の經世家に資せんが爲めなり希くは江湖の諸彦熟讀玩味斯言の不當ならざるを知り給へ

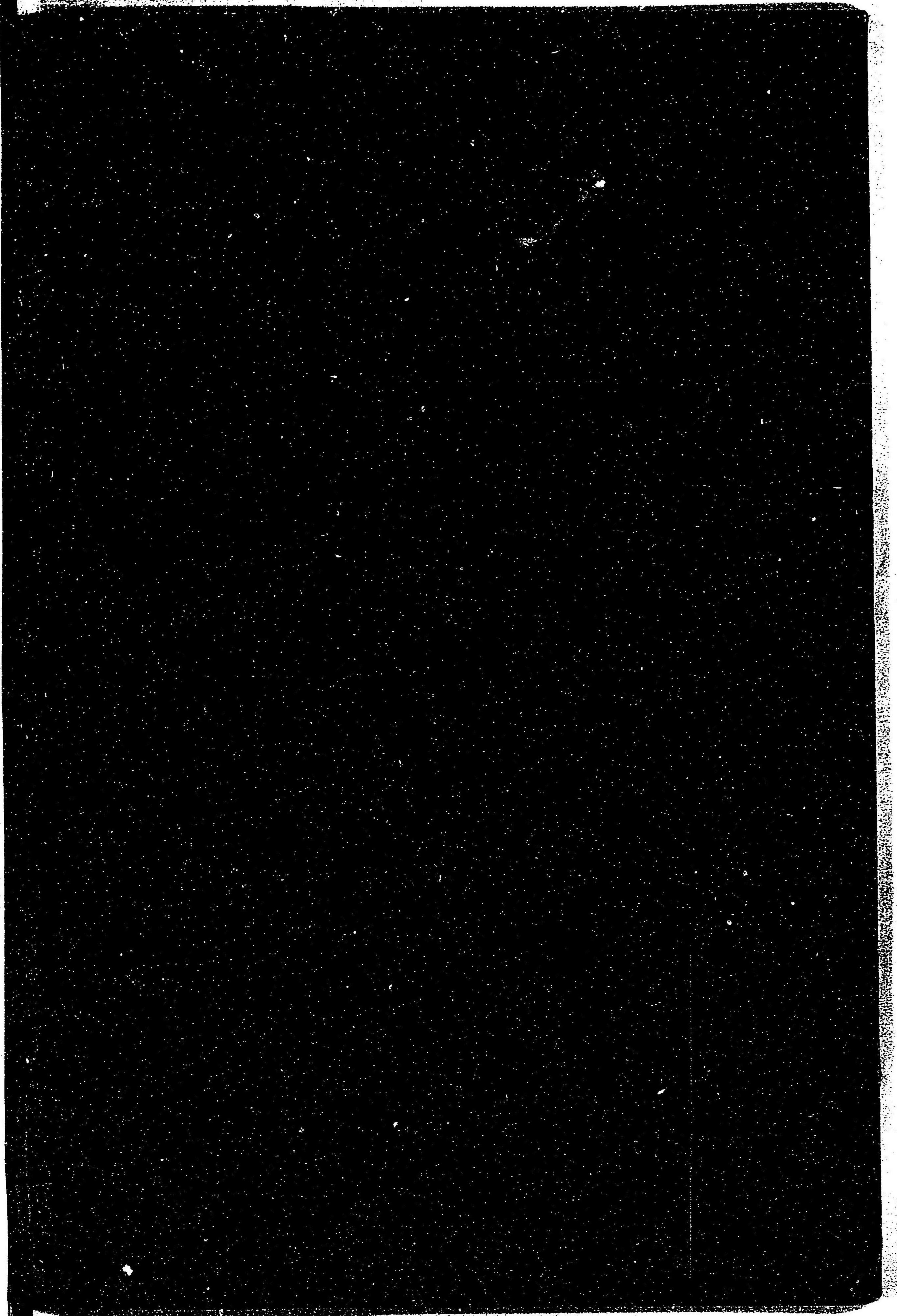
發行所 東京市日本橋區大馬路二丁目 內田老鶴園

(番五三三一花浪話電◎番六四一二一座口金貯替振)











203225-000-9

650.2-K029

世界各国之木材生産と輸出入 前編

小出 房吉/著

M41

EDK-0128





